

重点目標

1

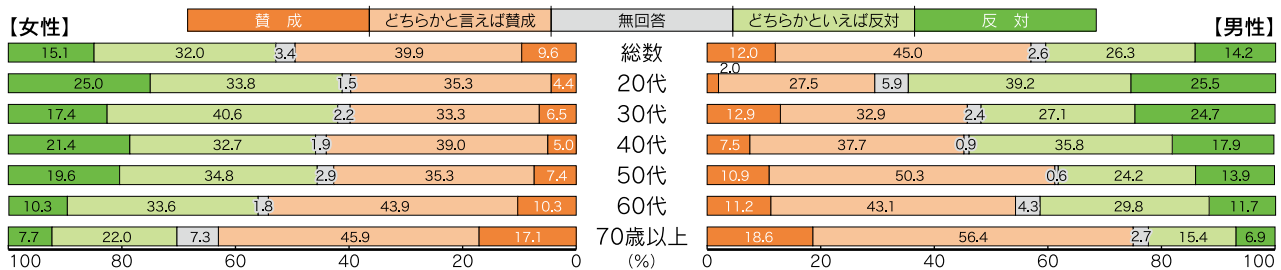
男女共同参画社会の形成を阻害する社会制度・慣行の見直し、意識の改革

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に代表される性別による固定的な役割分担意識や偏見は未だ根深く、そのことが男女の地位の不平等感が解消されない背景になっています。

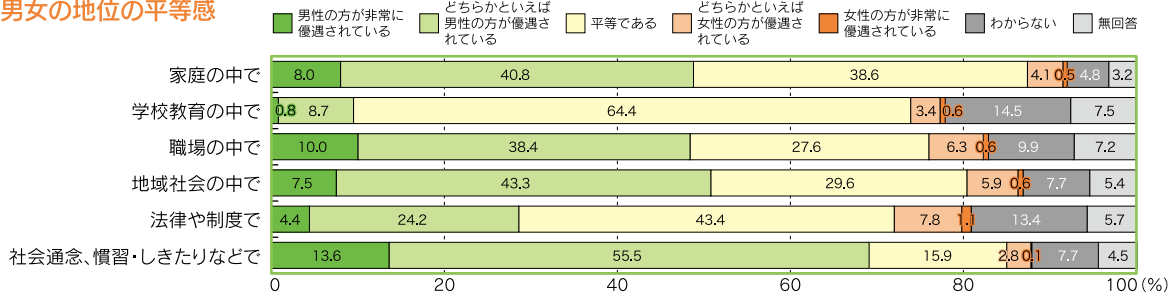
このため、性別による役割の固定化や機会の不平等を助長する社会における制度や慣行について、見直しを進めます。また、男女共同参画について理解を深めるための広報・啓発を行います。

●「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

資料：「平成23年度鹿児島県の男女の意識に関する調査」



●男女の地位の平等感



施策の方向と主な内容

- 男女共同参画の視点に立った制度や慣行の見直し**
 ○様々な分野の制度や慣行を男女共同参画の視点で見直します。
 ○各相談窓口において、社会的性別（ジェンダー）に配慮した相談対応を行います。
- 広報・啓発活動を通じた男女共同参画についての理解促進**
 ○男女共同参画についての理解を深めるための広報・啓発や情報提供を行います。
- 男女共同参画に関する調査研究、情報収集・提供の充実**
 ○統計情報を可能な限り男女別・年代別に集計・分析し、施策に反映させます。
- メディアにおける男女共同参画の推進とメディア・リテラシーの向上**
 ○公的広報・出版物等が、性別による固定観念や偏見等にとらわれることなく、男女共同参画の視点を踏まえた表現になるよう配慮します。

数値目標項目	現状	目標値
「男女共同参画社会」という用語を知っている人の割合	40.5% (H23)	100% (H29)
「鹿児島県男女共同参画センター」を知っている人の割合	30.7% (H23)	50% (H29)
県において男女共同参画に関する職場研修を実施した所属の割合	-	100% (H26)
男女共同参画計画の策定市町村の割合	51.2% (H23)	100% (H26)

* **社会的性別（ジェンダー）**：人間には生まれつきの生物学的性別（セックス）がある一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」があり、このような男性、女性の別をジェンダーという

* **メディア・リテラシー**：メディアの情報を主体的に読み解く能力、メディアにアクセスし、活用する能力、メディアを通じコミュニケーションする能力の3つを構成要素とする複合的な能力のこと

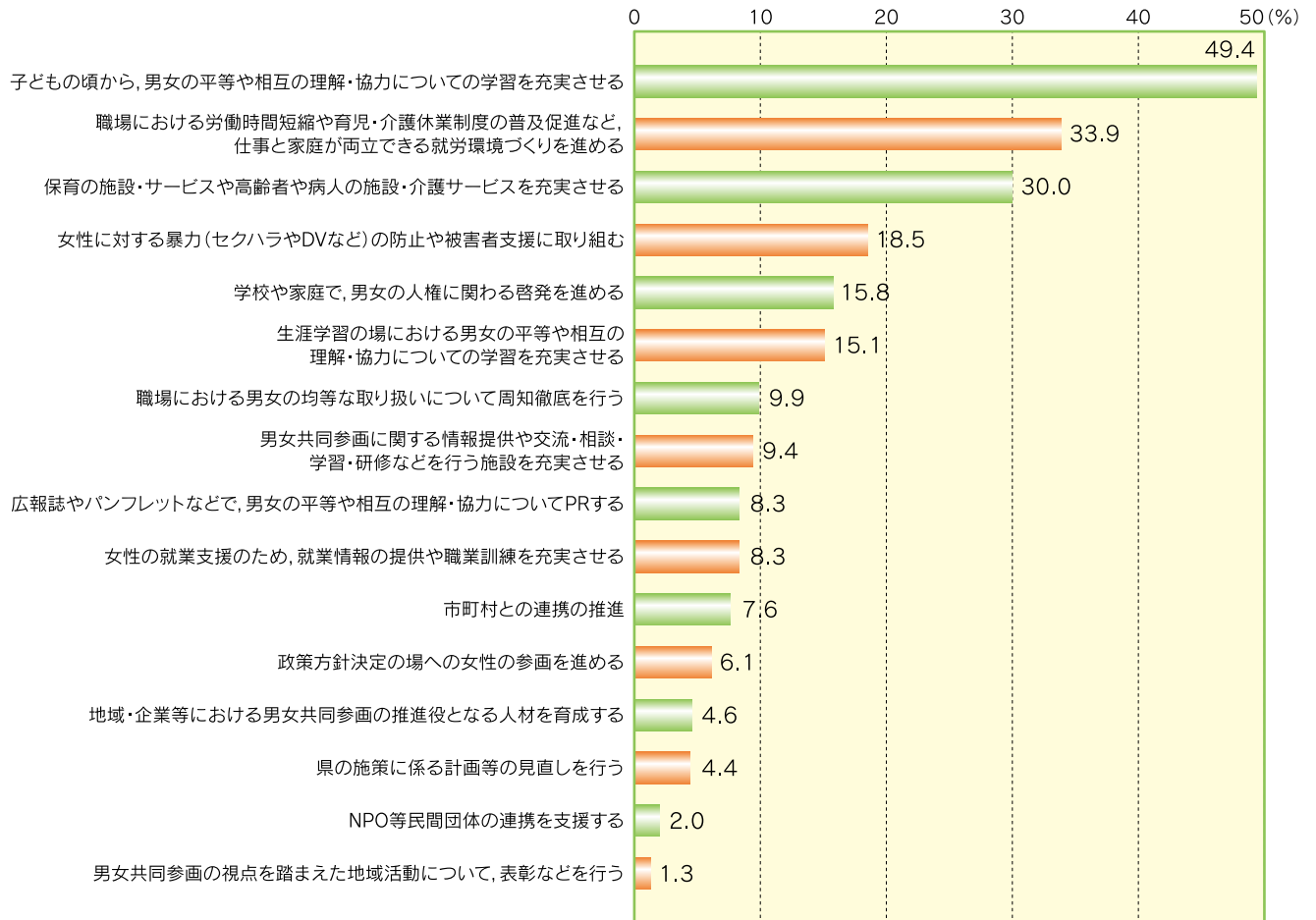
男女共同参画を正しく理解し、社会のあらゆる分野において推進する教育・学習の充実

男女共同参画社会を形成する上で基礎となるのが、教育・学習です。

このため、学校、家庭、地域、職場等が連携し、男女共同参画について正しい理解を深めるための教育・学習機会の充実を図ります。特に、これまで当事者意識を持って主体的に学習に参加する機会が少なかった子どもや男性、若年層を対象とした積極的な取組を行います。

●男女共同参画社会を形成していくために県が力を入れるべきこと（3つ以内回答）

資料：「平成23年度鹿児島県の男女の意識に関する調査」



施策の方向と主な内容

1. 学校等における人権尊重と男女平等を推進する教育の充実

- 教職員や保育士を対象に男女共同参画の理解を深めるための研修を行います。
- 人権尊重と男女平等の理念のもとに、学校教育活動や学校運営を行います。

2. 家庭や地域における男女共同参画の理解促進

- 男女共同参画センターや各地域で、男女共同参画に関する学習機会を積極的に提供します。
- 男女共同参画の視点を踏まえた家庭教育や社会教育を推進します。

3. 多様な選択を可能にする教育及び能力開発・学習機会の充実

- 自らの個性と能力を發揮して主体的な生き方を選択できるための総合的なキャリア教育や生涯学習・能力開発を推進します。

数値目標項目	現状	目標値
男女共同参画をテーマにセミナーを実施した公立高校の割合	48.0%(H23)	100%(H29)

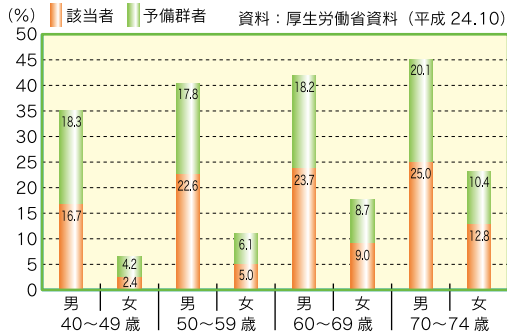
*キャリア教育：一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育のこと。なお、キャリアとは、人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ねのこと

生涯を通じた男女の健康の保持・増進

男女が、それぞれの性に関わる身体的特徴に理解を深め、心身及びその健康についての正しい知識と情報を入手することにより、主体的に行動し、健康を享受できるよう支援することが必要です。その際、女性は妊娠や出産の可能性もあるなど、生涯を通じて男女は異なる健康上の問題に直面することについて、十分な配慮が必要です。

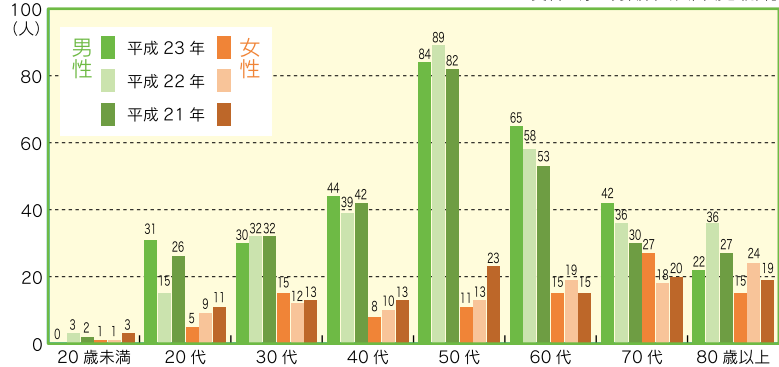
このため、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」(性と生殖に関する健康と権利)について、県民の理解を深めるとともに、男女の生涯を通じた心身の健康を支援するための総合的な取組を推進します。

●メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合(平成22年)



●年代別自殺者数の推移

資料：厚生労働省「人口動態統計」



施策の方向と主な内容

1. 生涯を通じた男女の健康支援

- 心身やその健康について正しい知識を普及するとともに、相談・健(検)診体制を充実します。
- 男女の身体的特徴の違いやニーズ等に配慮した医療体制の整備や健康づくりの支援、食育の推進を図ります。

2. 妊娠・出産等に関する健康支援と性に関する正しい理解の促進

- 安心・安全な妊娠・出産のために、医療体制の整備や経済的支援の充実を図ります。
- 子どもたちの発達段階に応じ、男女共同参画の視点に立った性教育を実施します。

3. 性感染症、薬物乱用、喫煙・飲酒対策の推進

- 性感染症の予防・治療のため、啓発活動と相談・検査・医療体制の充実を図ります。

4. 女性の医療関係者が能力を発揮しやすい環境の整備

- 女性の健康支援のニーズに対応するため、女性の医師等の就労継続や再就業を支援します。

5. 健康づくりのための生涯にわたるスポーツ活動の推進

- 性別や年齢等を問わず誰もがスポーツに親しむことができる環境を整備します。

数値目標項目	現状	目標値
「女性にやさしい医療機関」の数	58機関(H23)	100機関以上(H34)
「女性の健康サポート薬局」の数	28薬局(H23)	50薬局以上(H34)
子宮がん検診受診率(20歳~69歳)	29.5%(H22)	50%(H29)
乳がん検診受診率(40歳~69歳)	37.7%(H22)	50%(H29)
妊娠11週以内での妊娠の届出率	86.6%(H23)	100%(H26)
10代の人工妊娠中絶実施率(15~19歳人口千対)	6.5%(H23)	減少させる(H26)
10代の性感染症の報告数(1定点医療機関あたり) (①性器クラミジア感染症 ②淋菌感染症 ③尖圭コンジローム ④性器ヘルペスウイルス感染症)	①2.31 ②2.13 ③0.38 ④0.50 (H23)	減少させる(H26)
薬物乱用防止教室の実施率(公立小・中学校, 高校)	73.6%(H23)	80%(H26)

*リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)：リプロダクティブ・ヘルスとは、人間の生殖システム、その機能と(活動)過程の全ての側面において、身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態にあること。リプロダクティブ・ライツは、全てのカップルと個人が自分たちの子どもの数、出産間隔、並びに出産する時を責任をもって決定でき、そのための情報と手段を得ることができる基本的権利、並びに最高水準の性に関する健康及びリプロダクティブ・ヘルスを獲得する権利